

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果(幡羅中学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数・数学	理科
幡羅中	やや下回った	同等	やや下回った
埼玉県	55	50	53.2
全国	54.3	48.3	51.9

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質 問 事 項	幡羅中	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	94.2	91.7	91.2
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	87.3	81.7	81.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	93.4	92.8	92.6
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	87.8	81	77.5
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	23.1	12.6	13.7
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	64.7	61.4	57.9
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり30分以上、読書をする	15.5	22.1	21.4
教科への関心	国語の勉強は好きだ	61.9	58.5	57.9
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	90.2	89.5	88.3
	算数・数学の勉強は好きだ	69.4	53.5	53.8
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	84.4	74.3	75.2
	理科の勉強は好きだ	81	64.5	63.8
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	76.3	64.2	63.4
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	85.5	83	77.7
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	68.8	71.2	63
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	83.8	77.7	70.6
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	92.5	88	84.7
その他	自分には、よいところがあると思う	91.3	88	86.2
	将来の夢や目標をもっている	77.4	69.9	67.5
	人の役に立つ人間になりたいと思う	98.3	96.8	96.6
	今住んでいる地域の行事に参加している	85.5	75.8	75.3

【質問紙分析】

・生活習慣における質問事項において、県・全国の割合と比べて高いことから基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多いと考えられる。

・学習習慣において「学校の授業時間以外に、平日1日あたり1時間以上勉強している（学習塾等で勉強している時間も含む）」の項目において、県平均より10.5%、全国平均より9.4%上回っている。これは、毎日自主勉強に取り組んでいる結果であると考えられる。「学校の授業時間以外に、普段1日当たり30分以上読書、読書をする」では、県平均より6.6%、全国平均より5.9%下回っている。図書館教育、教科の国語を中心に読書の大切さを教えていく取組などを講じていく必要がある。

・「将来の夢や目標をもっている」の項目では、県・全国に比べて大幅に高くなっているのは、3年間を通じて計画的にキャリア教育を行っているからであると考えられる。また、日頃の特別活動や道徳の授業、2年生で行う職場体験学習や立志の会に向けての取組において、将来の夢や目標を設定するとともに、「人の役に立つ人間になりたい」という立志と忠恕の心を育てている結果と考えられる。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

- 1ー 出題の趣旨「文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる」
授業において、分野文章の中で漢字の意味を考えながら漢字を使う学習を取り入れている結果だと考えられる。
- 3ー 出題の趣旨「表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる」
授業において、5W1Hを大切にして授業実践している結果だと考えられる。
- 3二 出題の趣旨「文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる」
問題を理解できても、語彙が足りなかった、言葉の使い方が不十分であったことが考えられる。
- 3三 出題の趣旨「事象や行為を表す語彙について理解しているかどうかをみる」
語彙の不足や品詞の使い方が不十分だったと考えられる。

【算数・数学】

- 2 出題の趣旨「数量を文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる」
問題文からの的確に数量を読み取り、文字を用いて式に表すことができる生徒が多いと考えられる。
- 9（3） 出題の趣旨「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる」
三角形の合同条件、平行四辺形の基本的な性質を理解し、証明の方法が身に付いている生徒が多いと考えられる。
- 3 出題の趣旨「多角形の外角の意味をりかいしているかどうかをみる」
多角形の外角の意味を理解できていない生徒が多いと考えられる。

- 4 出題の趣旨「一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量と y の増加量を求めることができるかどうかをみる」

変化の割合と増加量の関係について理解できていない生徒が多いと考えられる。

【理科】

- 1 (2) 出題の趣旨「身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる」

授業の中で語句や薬品名、使用器具の名前などを確認させ授業に取り組ませている結果であると考えられる。

- 3 (1) 出題の趣旨「仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場面の結果を予想することができるかどうかをみる」

結果を想像して、仮説を立てられる生徒が多いと考えられる。

- 3 (2) 出題の趣旨「身近な電化製品の電気回路について探求する学習場面において、回路に抵抗が付いている理由を問うことで、抵抗に関する知識が概念として身に付いているかどうかをみる」

よく考えれば解ける問題である。問題に慣れていない生徒が多いと考えられる。

- 6 (1) 出題の趣旨「スケッチから分かることを問うことで、スケッチに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる」

正しいスケッチのかき方を理解していない生徒が多いと考えられる。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・ 質問紙分析でもあるように、読書にかかる時間が少ないため、たくさんの本に触れさせるために、読書の時間を増やす取組を行う。また読書をさせることで、生徒の語彙力を高めていく。
- ・ 文の成分が文の中で果たしている役割について理解させるだけでなく、よりわかりやすい文にするための順序を考えさせる学習を取り入れていく。

【算数・数学】

- ・ 図を示して、具体的にイメージさせて理解させる。
- ・ 「 x の増加量が 2 のときの y の増加量」と「 x の値が 2 のときの y の値」を求める活動を取り入れ、それらの違いを捉えられるようにしていく。

【理科】

- ・ 様々なパターンの問題に取り組ませ、問題慣れをさせていく。また様々なアプローチをしながら、生徒に問題の趣旨や仮説を立てさせながら問題に取り組ませる。
- ・ 授業内でスケッチの時間を十分確保するだけでなく、スケッチのルールやかき方など丁寧に指導していく。